

**厚生労働省版**  
**ストレスチェック実施プログラム**  
**設置・設定マニュアル**  
**Ver.1.1**

# 目次

1. システム概要 .....	2
2. 設置手順.....	3
3. 注意事項.....	5
4. 動作環境.....	8
5. 初期設定.....	9
6. システム設定（環境設定） .....	15
7. システム設定（ログインパスワード変更） .....	18
8. システム設定（ファイルのパスワード変更） .....	20
9. 職場登録.....	22
10. 実施管理.....	23
11. 最終確認.....	24

## 1. システム概要

本システムは、労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度事業を浸透させるため、ストレスチェックの受検、高ストレス判定、個人のストレスプロフィールの出力、仕事のストレス判定図の出力を行うものです。

本マニュアルでは、ストレスチェックを受検するための「受検者回答用アプリ」とストレスチェックの結果を管理する「実施者用管理ツール」の設置・設定方法について記載しています。

## 2. 設置手順

ストレスチェック実施プログラムの設置手順の概要は以下のとおりです。

「システム設定」、「職場登録」、「実施管理」が正しく設定されていない場合、受検者による受検者回答用アプリのご利用はできません。

### ① ストレスチェック実施プログラムのダウンロード

プログラムをダウンロードしZIPファイル（厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム.zip）を解凍します。



### ② 受検者回答用アプリの設置

受検者全員が参照可能なディレクトリ（フォルダ）やファイルサーバーに「受検者回答用アプリ」フォルダをコピーします。可能であれば受検者が誤ってアプリ内のデータを削除することを防止するため、コピーされた「受検者回答用アプリ」フォルダの中の「受検者回答用アプリ.exe」のショートカットを作成し、受検者に対し公開するための場所にそのショートカットのみを移動し公開してください。



### ③ 実施者用管理ツールの設置

実施者のみが参照可能な任意の場所に、「実施者用管理ツール」フォルダをコピーします。

**個人情報漏えい防止のため、実施者のみアクセス可能なフォルダに保存してください。**

必須コンポーネント（必須のソフトウェア）がインストールされていない場合にはセットアップが起動します。

セットアップに従ってインストールを実施してください。（9 ページ）

また、実施者管理ツールをはじめて起動すると、初期設定が必要なものに赤枠のガイドが表示されます。（④～⑥）赤枠で表示されるガイドに従って初期設定を行ってください。



### ④ 「システム設定」の登録実施

・環境設定

受検者回答用アプリのディレクトリ（フォルダ）とストレス結果出力先フォルダを設定します。（16 ページ）



・パスワード変更

パスワード変更を実施します。初期パスワードは「stresscheck」で登録されています。

パスワードを紛失するとログインできなくなります。ご注意ください。

(18 ページ)



⑤ 「職場登録」の登録実施

職場（職場コード、職場名）の登録を実施します。

ここで登録された職場は「受検者回答用アプリ」で選択可能な職場として表示されます。

(22 ページ)



⑥ 「実施管理」の登録実施

実施管理（実施回、実施方法、実施期間、実施責任者、実施責任者役職）の登録を実施します。「受検者回答用アプリ」で登録されたデータは実施状況が「実施中」の実施回として登録されます。(23 ページ)



⑦ 「最終確認」

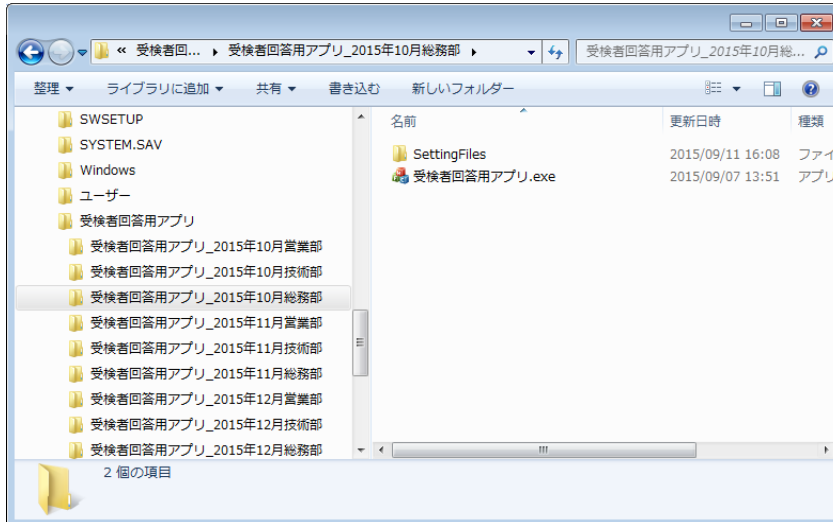
最終確認として「受検者回答用アプリ」を起動し、入力できることを確認します。

### 3. 注意事項

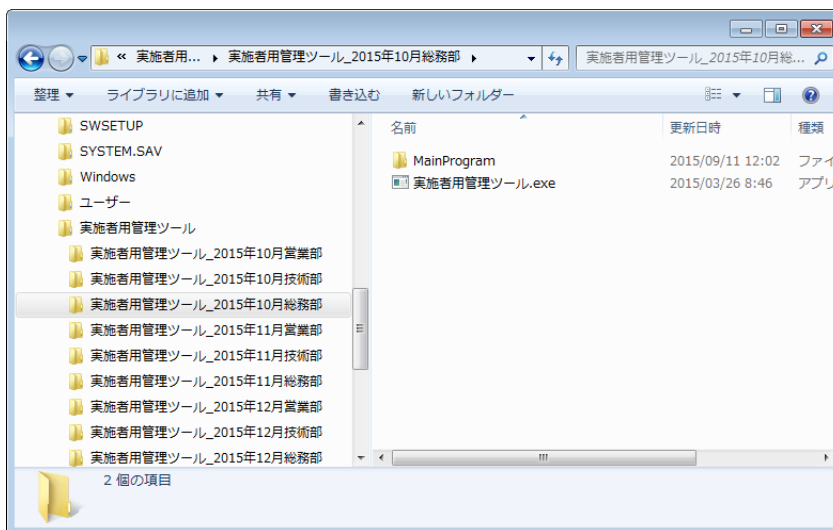
- 使用にあたり、必ず「設置・設定マニュアル.pdf」（本ファイル）、「受検者回答用アプリマニュアル.pdf」、「実施者用管理ツールマニュアル.pdf」を事前によくお読みください。
- 厚生労働省版ストレスチェック実施プログラムのフォルダにはプログラムの実行に必要なファイルが含まれています。「受検者回答用アプリ」「実施者用管理ツール」フォルダの中身の移動・修正等はストレスチェック実施プログラムが動作しなくなるため行わないでください。
- 実施者用管理者ツールの「システム設定」、「職場登録」、「実施管理」が正しく設定されていない場合、受検者による受検者回答用アプリのご利用はできません。
- 個人情報漏えい防止のため、パスワードの保管・取り扱いには十分にご注意ください。
- P D F ・エクセル・ C S V の出力先は実施者のみがアクセスできるフォルダに保存されるように設定して下さい。
- 本プログラムの登録可能件数はパソコンの処理能力やメモリ量により変化しますが、おおよそ最大 3 万件程度を目安にご利用ください。  
人数が多い場合や、受験回数が多いことが想定される場合には、5 ページ「3 万件を超えるデータが保存されることが想定される場合の設定例」のような設定方法などで「受検者回答用アプリ」と「実施者用管理ツール」を分け最大登録件数を抑制し、運用してください。  
登録可能件数を超えた場合は、パソコンがフリーズするなどの予想できない動作を引き起こす可能性がありますのでご注意ください。
- 「ダウンロード時の注意事項」が守られない、または「設置・設定マニュアル」、「受検者回答用アプリマニュアル」、「実施者用管理ツールマニュアル」(本マニュアル)に記載されていない使用方法を行うことで生じた不都合について、厚生労働省及び開発依頼元並びに開発元では責任を負いかねます。

### 3 万件を超えるデータが保存されることが想定される場合の設定例

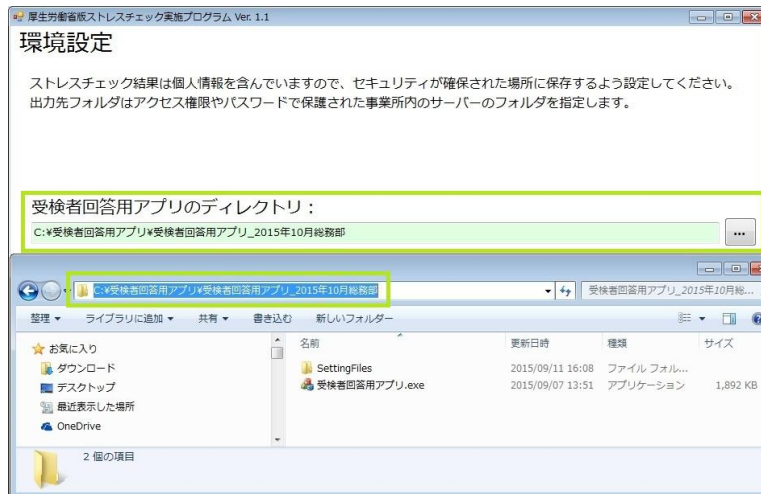
プログラムを実施月＋部署毎に用意し、登録時期と人数を限定し最大データ件数を抑えます。



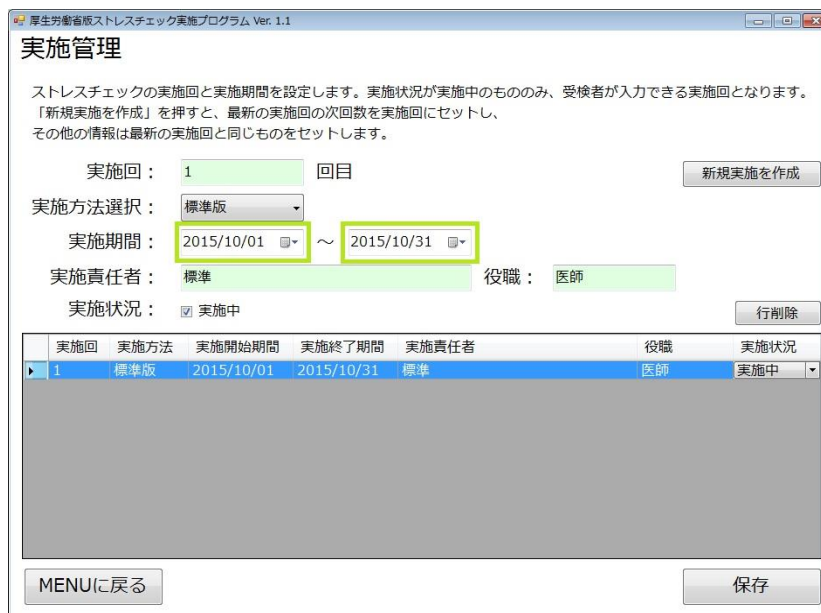
- ① データが入っていない「受検者回答用アプリ」を各年月と部署ごとに用意します。



- ② データが入っていない「実施者用管理ツール」を各年月と部署ごとに用意します。



- ③ 複数設置された「受検者回答用アプリ」それぞれのデータが、各年月と部署ごとに用意した「実施者用管理ツール」へ取り込むため、それぞれに「システム設定」「受検者回答用アプリ」にて対応した年月と部署の「受検者回答用アプリ」のディレクトリ（フォルダ）を指定します。  
 （例は 2015 年 10 月総務部の「実施者用管理ツール」の「システム設定」から「環境設定」を開き、2015 年 10 月総務部の「受検者回答用アプリ」のディレクトリ（フォルダ）を指定しています。）



- さらに「実施管理」の実施期間については各月の 1 日から月末までを設定します。  
 （例は 2015 年 10 月総務部の「実施者用管理ツール」の実施回を 2015 年 10 月 1 日から 2015 年 10 月 31 日まで指定しています。）

- ④ それぞれの部署にフォルダを公開し、対応する実施時期のストレスチェック実施プログラムを実施



してください。

## 4. 動作環境

受検者回答用アプリおよび実施者用管理ツールは以下の環境での動作を推奨しています。

### 受検者回答用アプリ

#### ・OS

Windows XP

Windows Vista

Windows 7

Windows 8

※上記以外の OS についてはサポートしていません。

#### ・画面の解像度

1024×768 以上

### 実施者用管理ツール

#### ・OS

Windows XP

Windows Vista

Windows 7

Windows 8

※上記以外の OS についてはサポートしていません。

#### ・.Net Framework

3.5 以上

#### ・画面の解像度

1024×768 以上

## 5. 初期設定

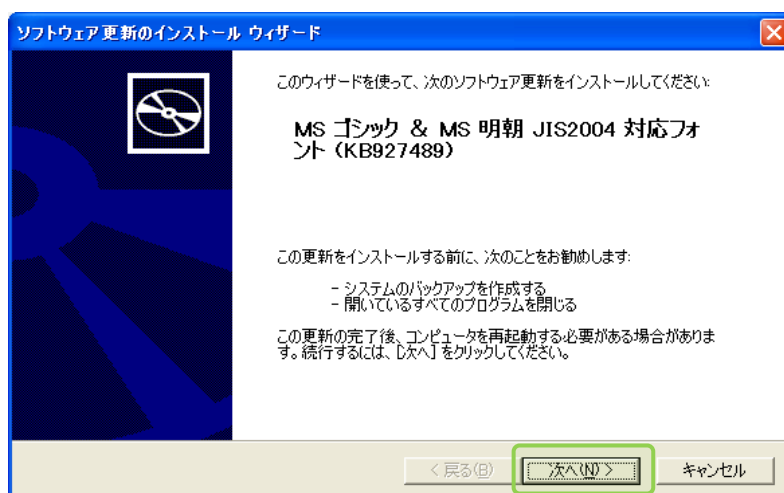
- 1.「実施者用管理ツール.exe」を実行します。
- 2.必須コンポーネント（必須のソフトウェア）がインストールされていない場合、セットアップが起動します。

※必須コンポーネント（必須のソフトウェア）は複数あります。

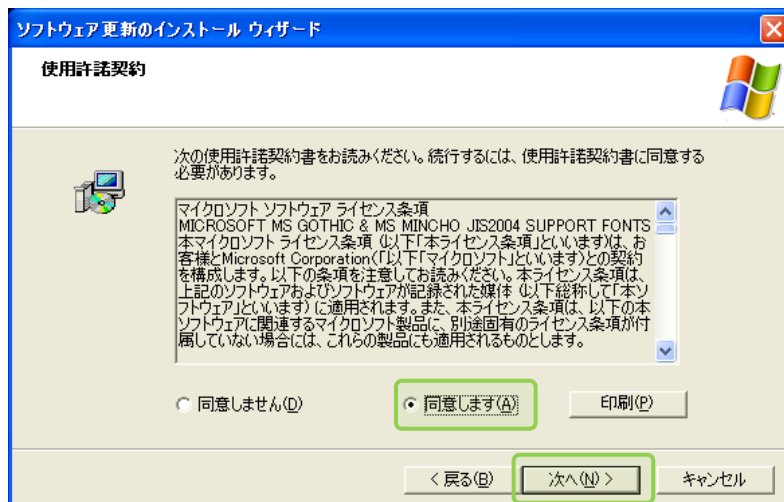
セットアップが起動されない場合は既にインストールされています。14 に移動してください。

- 3.OS が Windows XP の場合は以下画面が表示されます。次へ(N)を押下します。

※OS が Windows XP 以外の場合は以下画面が表示されません。6 に移動してください。

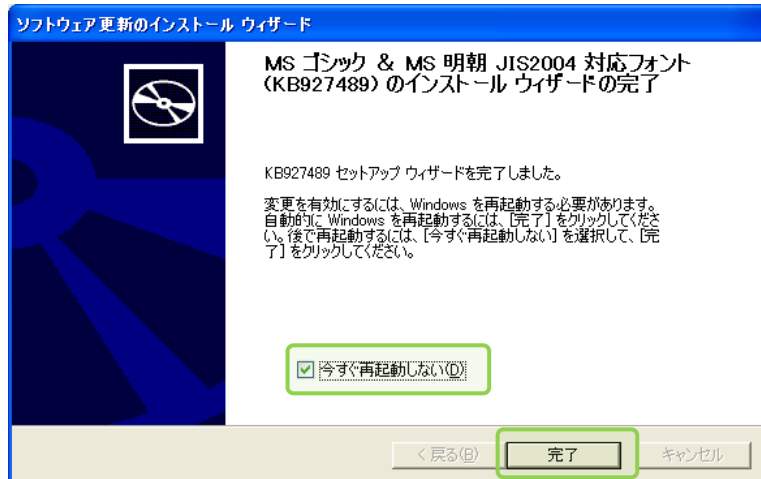


4. 使用許諾契約書の内容を確認し問題がなければ「同意します(A)」にチェックを入れ、次へ(N)を押下します。



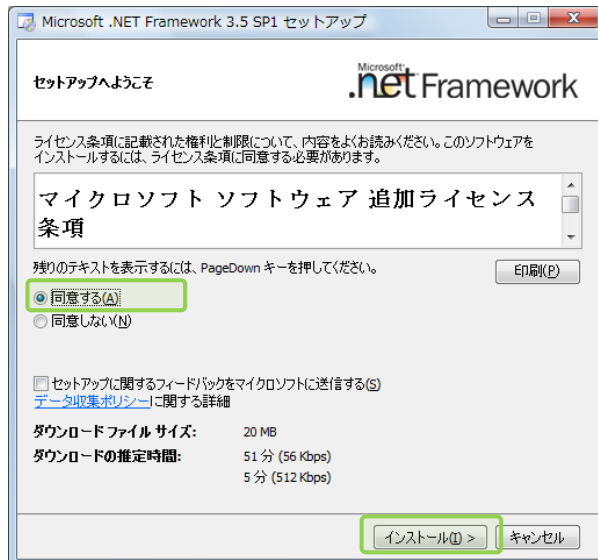
5.今すぐ再起動しない(D)にチェックをいれ、完了を押下します。

※再起動した場合は再度「実施者用管理ツール.exe」を実行してください。

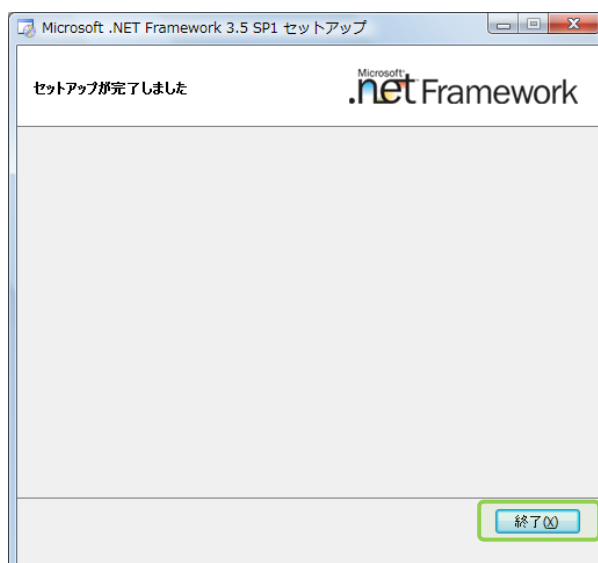


6. 以下画面が表示された場合は同意する(A)にチェックを入れ、インストール(I)を押下します。

※以下画面が表示されない場合は 8 に移動してください。

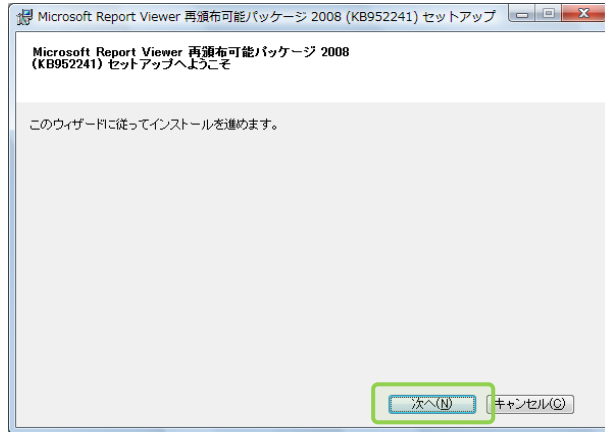


7. 終了(X)を押下します。

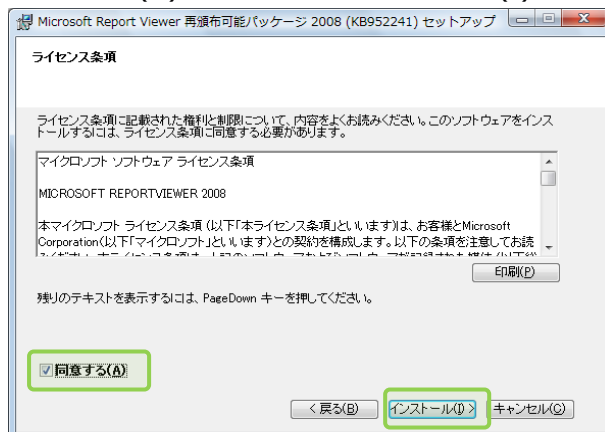


8. 以下画面が表示された場合は次へ(N)を押下します。

※以下が表示されない場合は、11 に移動してください。



9. 同意する(A)にチェックを入れ、インストール(I)を押下します。

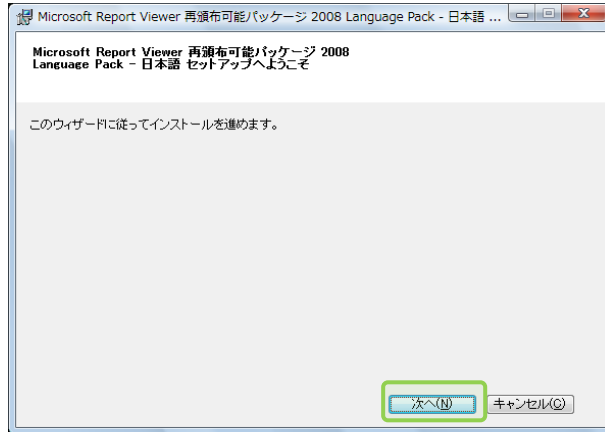


10. 「完了」を押下します。

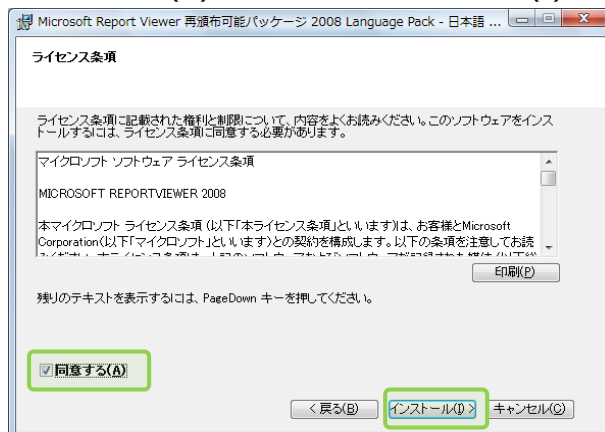


11. 以下画面が表示された場合は次へ(N)を押下します。

※以下が表示されない場合は、14 に移動してください。



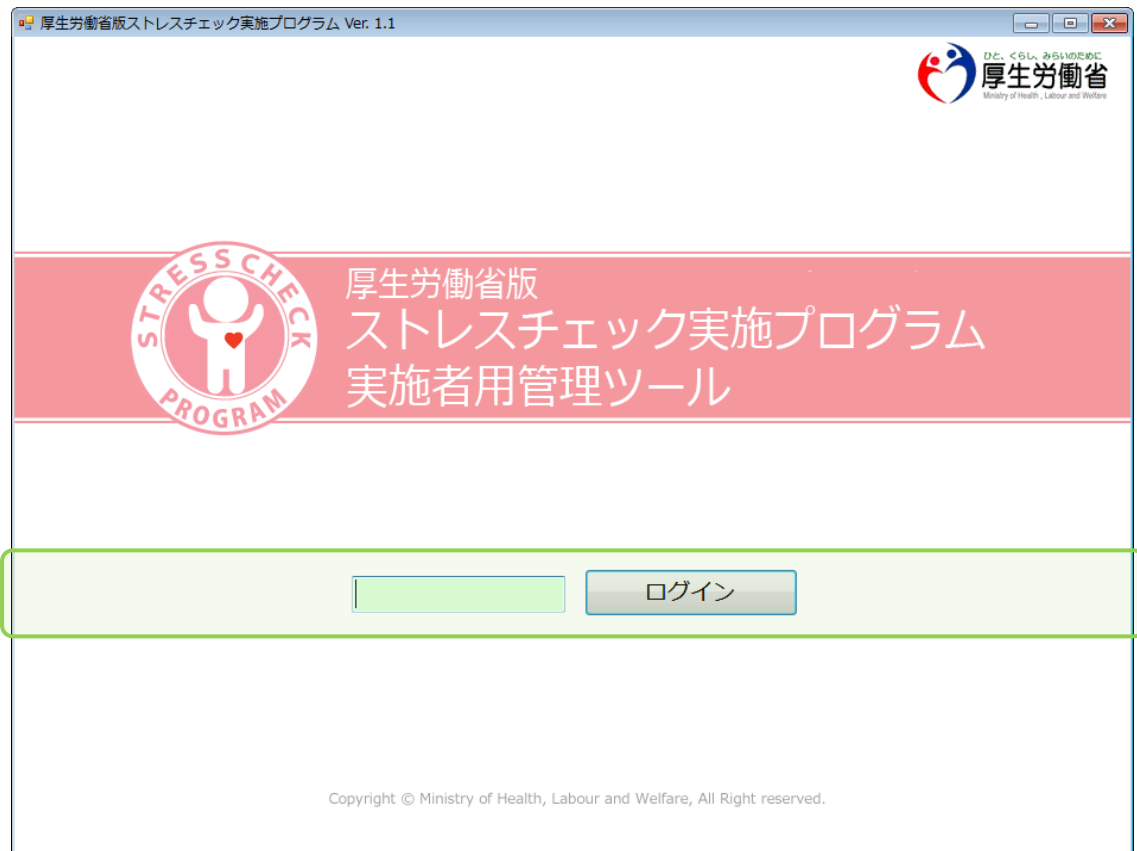
12. 同意する(A)にチェックを入れ、インストール(I)を押下します。



13. 「完了」を押下します。



14.実施者用管理ツールログイン画面にてパスワードを入力し、「ログイン」を押下します。



厚生労働省版  
ストレスチェック実施プログラム  
実施者用管理ツール

ログイン

Copyright © Ministry of Health, Labour and Welfare, All Right reserved.

※初期パスワードは「stresscheck」

## 6. システム設定（環境設定）

実施者管理ツールをはじめて起動すると、初期設定が必要なものに赤枠のガイドが表示されます。

初期設定が完了するまで他の機能は使用できません。

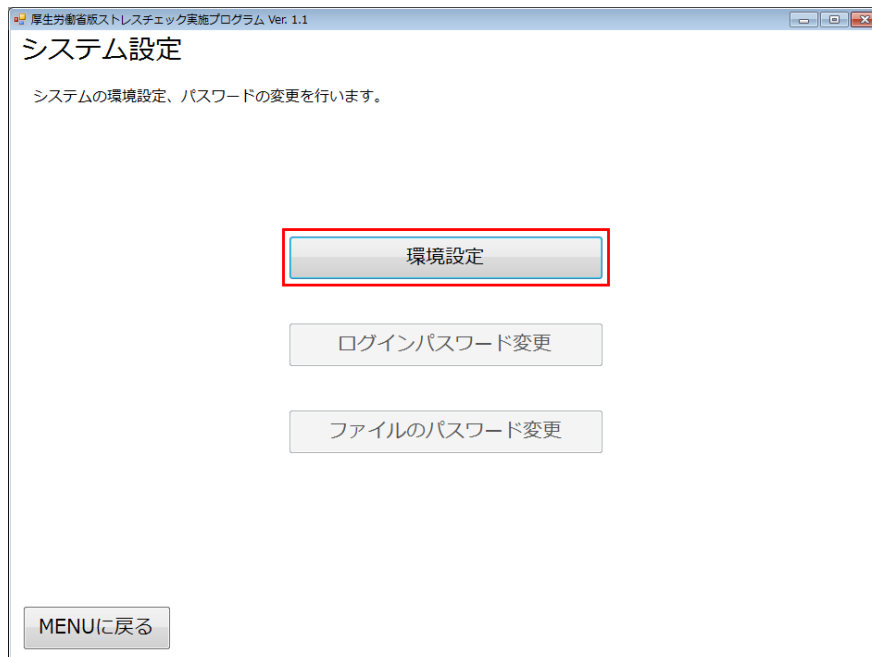
赤枠で表示されるガイドに従って初期設定を行ってください。

### 1. 「システム設定」を押下します。

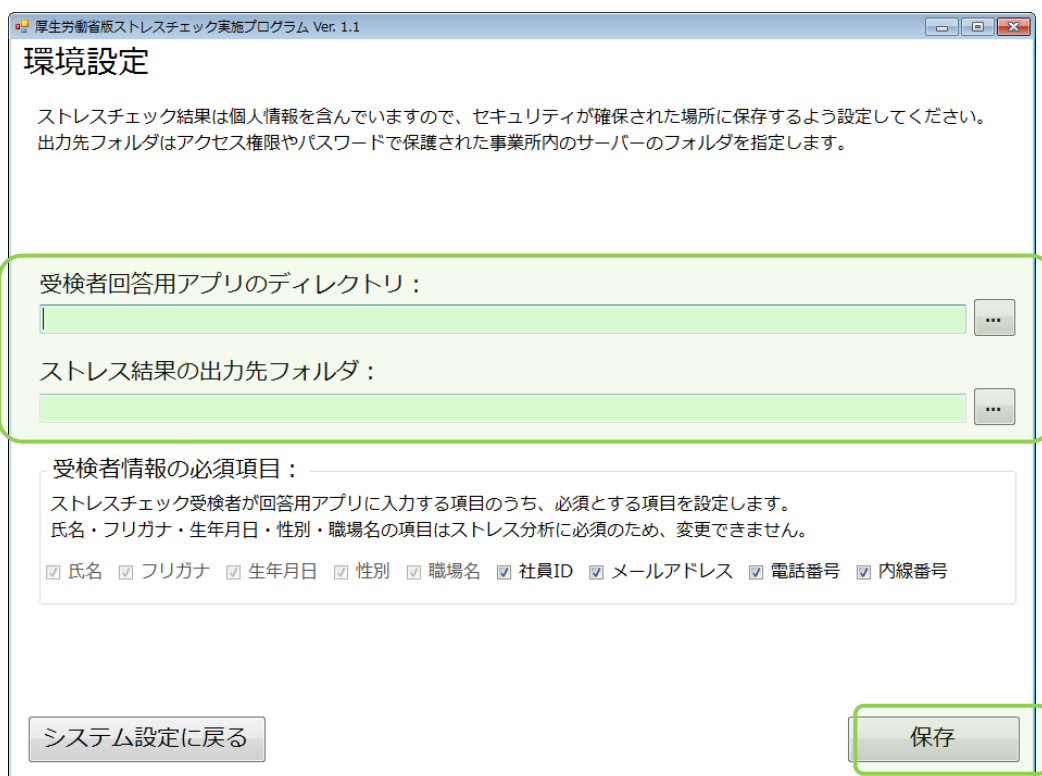




## 2.「環境設定」を押下します。



## 3.受検者回答用アプリのディレクトリ（フォルダ）、ストレス結果の出力先フォルダを直接入力するか、「…」ボタン押下してパスを指定し、「設定保存」を押下します。



**受検者回答用アプリのディレクトリ（フォルダ）：**

任意の場所にコピーした受検者回答用アプリフォルダを指定します。

「受検者回答用アプリ.exe」が存在するディレクトリ（フォルダ）のパスを記載もしくは指定することで、  
受検者が

回答用アプリを使用することが可能となります。

（「受検者回答用アプリ.exe」ショートカットのあるディレクトリ（フォルダ）ではありません。）

また、受検者が登録したデータを実施者用管理者ツールで参照し分析することが可能となります。

**ストレス結果の出力先フォルダ：**

「実施者用管理ツール.exe」から出力されるファイルの出力先を記載もしくは指定します。

個人情報漏えいを防止するため、実施者のみが見ることのできるフォルダを指定してください。

**受検者情報の必須項目：**

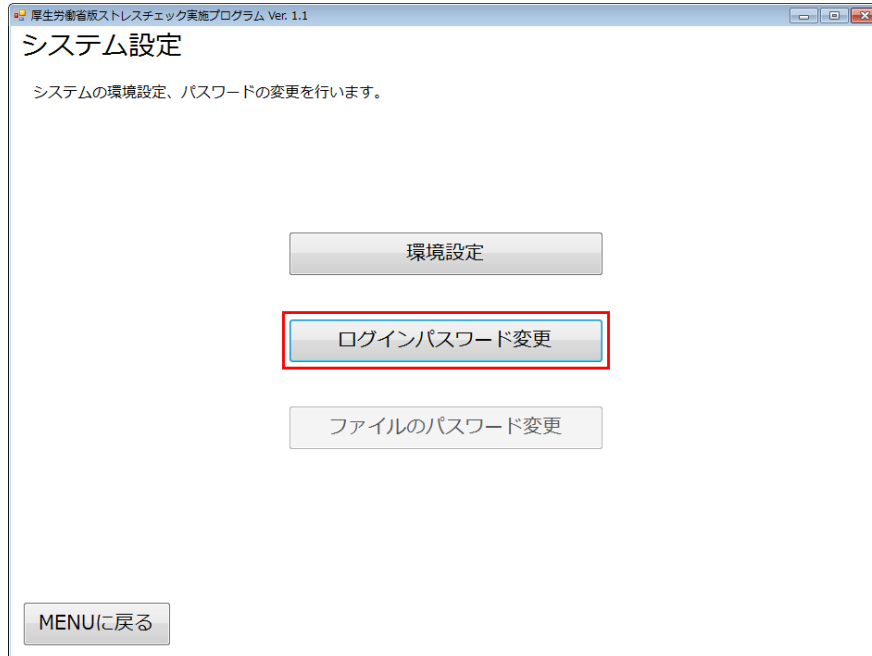
「受検者回答用アプリ」で必須項目としたい項目にチェックを入れると必須入力となります。

チェックが入っていない場合には任意入力となります。

「システム設定に戻る」を押下し、システム設定画面に遷移します。

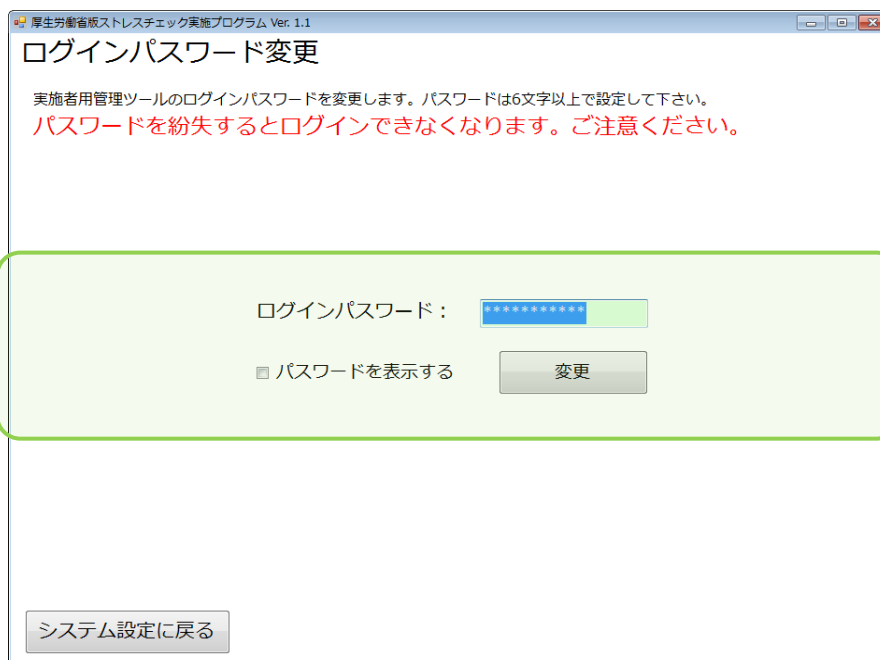
## 7. システム設定（ログインパスワード変更）

1. パスワードを変更する場合は、「ログインパスワード変更」を押下します。

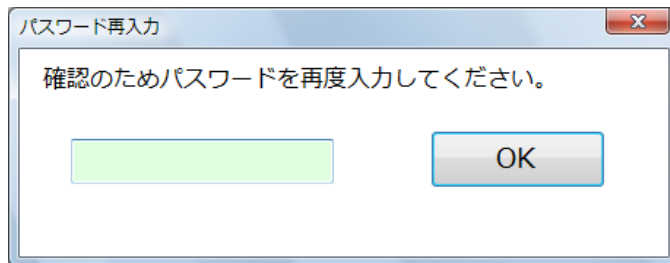


2. 変更後のパスワードを入力し、「変更」を押下します。

※パスワードを表示するにチェックを入れると、パスワードが\*から文字表示へと切り替わります。

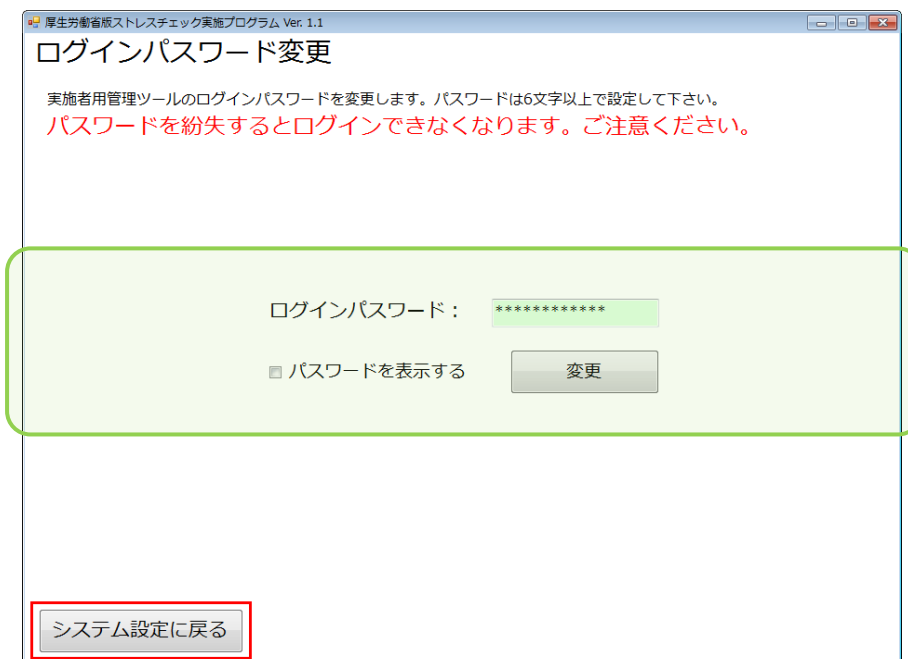


3.再度変更後のパスワードを入力し、「OK」を押下し変更確定を行います。



A dialog box titled "パスワード再入力" (Password Re-entry) with a close button (X) in the top right corner. The main text reads "確認のためパスワードを再度入力してください。" (Please re-enter your password for confirmation). Below the text is a green rectangular input field and a grey button labeled "OK".

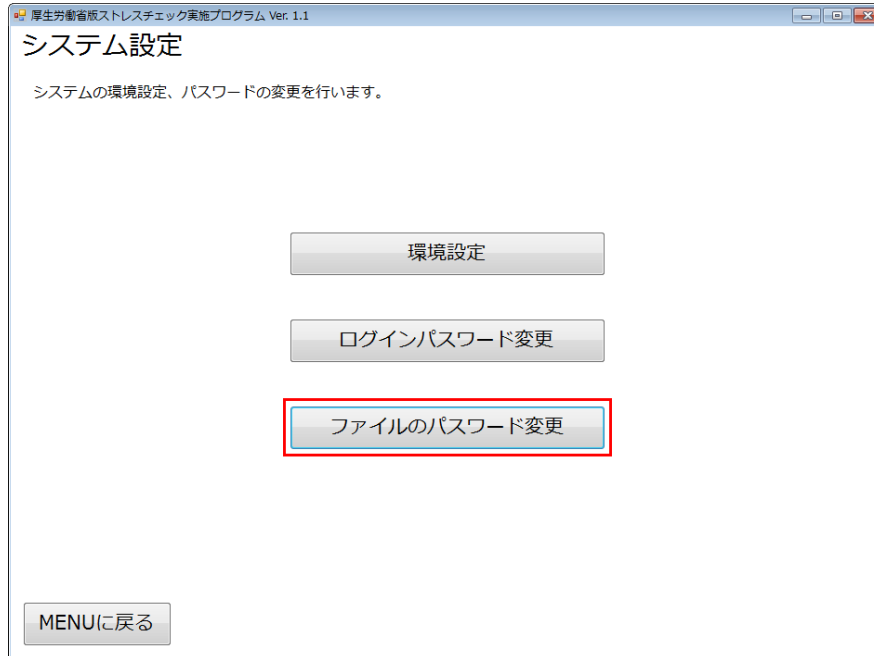
4.「システム設定に戻る」を押下し、システム設定画面に遷移します。



A screenshot of the "ログインパスワード変更" (Login Password Change) screen from the "厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム Ver. 1.1". The title bar shows the program name and version. The main heading is "ログインパスワード変更". Below it, instructions state: "実施者用管理ツールのログインパスワードを変更します。パスワードは6文字以上で設定して下さい。" (Change the login password for the management tool. Password must be 6 or more characters). A red warning message follows: "パスワードを紛失するとログインできなくなります。ご注意ください。" (If you lose your password, you will not be able to log in. Please be careful). The screen features a green rounded rectangle containing the "ログインパスワード:" label, a masked password field (\*\*\*\*\*), a checkbox labeled "パスワードを表示する" (Show password), and a grey "変更" (Change) button. At the bottom left, a grey button labeled "システム設定に戻る" (Return to system settings) is highlighted with a red rectangular box.

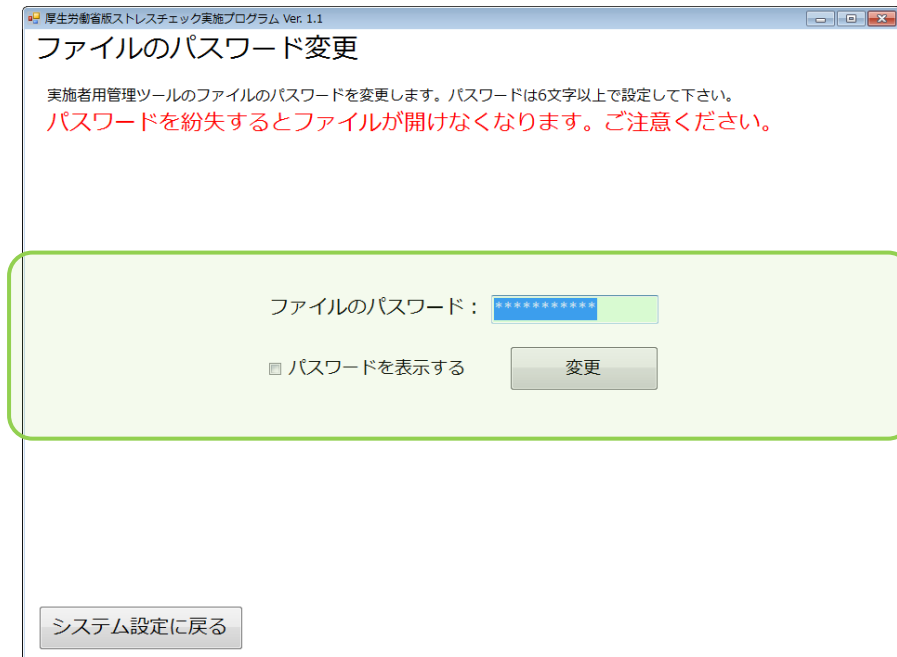
## 8. システム設定（ファイルのパスワード変更）

1. パスワードを変更する場合は、「ファイルのパスワード変更」を押下します。

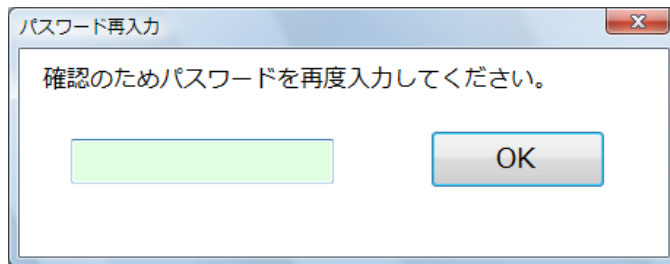


2. 変更後のパスワードを入力し、「変更」を押下します。

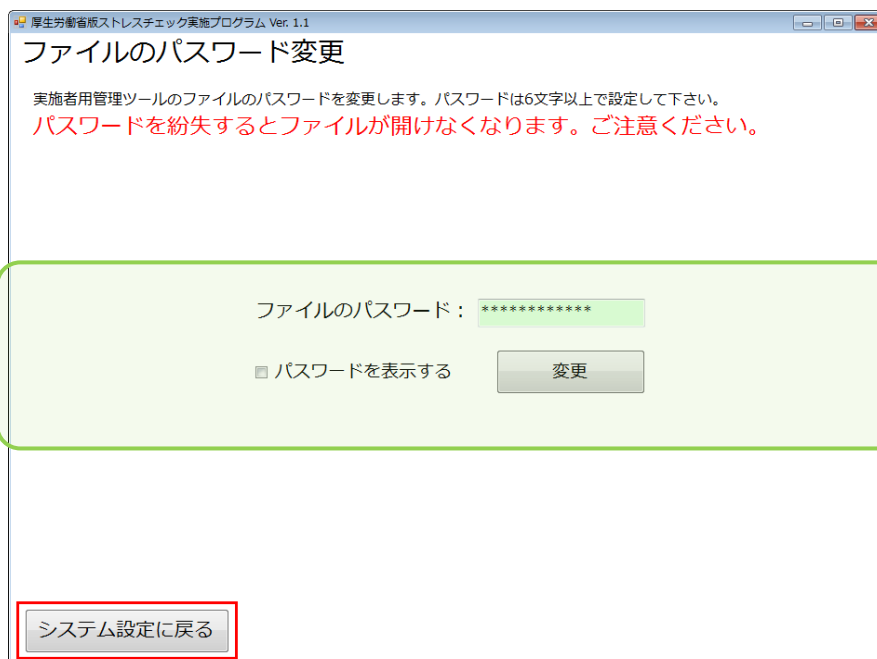
※パスワードを表示するにチェックを入れると、パスワードが\*から文字表示へと切り替わります。



3.再度変更後のパスワードを入力し、「OK」を押下し変更確定を行います。



4.「システム設定に戻る」を押下し、システム設定画面に遷移します。



## 9. 職場登録

ここで登録された職場は「受検者回答用アプリ」で選択可能な職場として表示されます。

1.「職場登録」を押下します。

厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム Ver. 1.1

ストレスチェック実施前に設定します。

- システム設定: 回答用アプリのサーバー上のディレクトリやストレス結果の出力先など設定を行います。設置時にご登録ください。
- 職場登録**: 職場名の登録を行います。こちらで登録された職場名を受検者が選択できるようになります。設置時にご登録ください。
- 実施管理: ストレスチェックの実施回と実施期間の登録・管理を行います。

ストレスチェック実施中または実施後に行います。

- ストレスチェックデータ登録: ストレスチェックのデータ登録・変更・削除を行います。
- 対象者一覧登録: ストレスチェックの対象者の登録を行います。
- 受検者・未受検者一覧: ストレスチェックの受検者と未受検者の一覧を表示します。
- ストレス分析(個人): 個人の分析とフィードバックを行います。
- ストレス分析(職場): 職場の分析とフィードバックを行います。
- 高ストレス者判定: 高ストレス者の判定とフィードバックを行います。高ストレス者の判定基準の編集を行います。
- 報告用データ: 労基署へ報告する情報を表示します。

2.職場コード、職場名を入力し、「上書き保存」を押下します。

厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム Ver. 1.1

### 職場の登録

- 複数の職場が無い場合でも、必ず1件は登録してください。
- 職場コード・職場名は、任意の数字や記号でご登録ください。

注) ここで登録する職場名はストレス状況を職場ごとに集計するのに使われます。  
このため、一つの職場で受検者数が10名以上確保されるよう設定する必要があります。

行削除

職場コード	職場名
*	

MENUに戻る 保存

3.「MENU に戻る」を押下します。

## 10. 実施管理

1.「実施管理」を押下します。

厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム Ver. 1.1

ストレスチェック実施前に設定します。

- システム設定: 回答用アプリのサーバー上のディレクトリやストレス結果の出力先など設定を行います。設置時にご登録ください。
- 職場登録: 職場名の登録を行います。こちらで登録された職場名を受検者が選択できるようになります。設置時にご登録ください。
- 実施管理**: ストレスチェックの実施回と実施期間の登録・管理を行います。

ストレスチェック実施中または実施後に行います。

- ストレスチェックデータ登録: ストレスチェックのデータ登録・変更・削除を行います。
- 対象者一覧登録: ストレスチェックの対象者の登録を行います。
- 受検者・未受検者一覧: ストレスチェックの受検者と未受検者の一覧を表示します。
- ストレス分析(個人): 個人の分析とフィードバックを行います。
- ストレス分析(職場): 職場の分析とフィードバックを行います。
- 高ストレス者判定: 高ストレス者の判定とフィードバックを行います。高ストレス者の判定基準の編集を行います。
- 報告用データ: 労基署へ報告する情報を表示します。

2.実施回、実施方法選択、実施期間、実施責任者、役職を入力し、入力した実施回を実施させる場合は、実施状況にチェックを入れ、「上書き保存」を押下します。

厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム Ver. 1.1

### 実施管理

ストレスチェックの実施回と実施期間を設定します。実施状況が実施中のもののみ、受検者が入力できる実施回となります。  
「新規実施を作成」を押すと、最新の実施回の次回数を実施回にセットし、  
その他の情報は最新の実施回と同じものをセットします。

実施回:  回目

実施方法選択:

実施期間: 2015/09/28 ~ 2016/09/28

実施責任者:  役職:

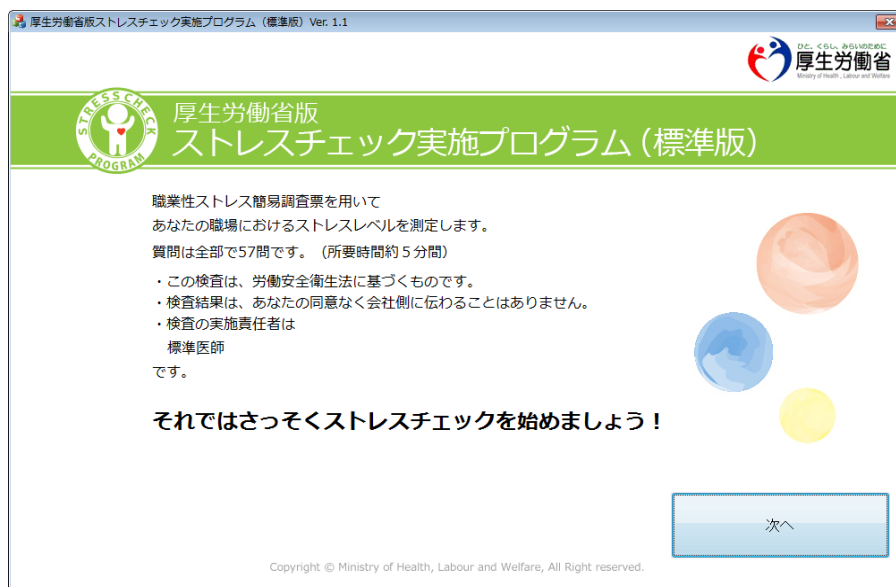
実施状況: ☒ 実施中

実施回	実施方法	実施開始期間	実施終了期間	実施責任者	役職	実施状況
-----	------	--------	--------	-------	----	------



## 11. 最終確認

1. 実施者用管理ツールを閉じます。
2. 受検者回答用アプリを起動し、下記のような回答入力画面まで表示されることが確認できれば設定完了となります。受検者に各端末から「受検者回答用アプリ.exe」を実行してもらい、ストレスチェック実施プログラムを実施してください。



※下記のような画面が表示された場合には 13 ページに記載しております、システム設定（環境設定）に不備があります。再度ご確認のうえ正しい設定を行ってください。

